

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	20400	秘書事務費		担当課	企画管理部 秘書課	内線	2406
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策		
	款	2	総務費		分野		
	項	1	総務管理費		基本施策		
	目	4	秘書費		施策		
実施計画事業							
市長の約束							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	受益者数	93,312 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> ・交際・渉外に関する業務の遂行 ・各自治体などとの連携・情報収集 		
概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・市長、副市長によるトップセールス ・市長、副市長の円滑な日程調整 		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 早朝市民面談			件	目標値	—	—	—
			実績値		168	197	—	
算出根拠等	早朝市民面談件数			達成率(%)		#VALUE!	#VALUE!	—
成果指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	② 市民・団体などとの面談			件	目標値	—	—	—
			実績値		396	675	—	
算出根拠等	庁内面談・市内外面談件数			達成率(%)		#VALUE!	#VALUE!	—
成果指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	①				目標値			
			実績値				—	
算出根拠等				達成率(%)				—
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額	
	歳出(千円)		(A)	8,818	7,930	12,023		
コスト面	受益者負担(使用料・負担金等)							
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)							
コスト面	一般財源			8,818	7,930	12,023		
	指標名			H21	H22	H23見込	H24計画	
①	受益者1件あたり		(A/B)	94	85	129		
	受益者 市民(4月1日現在)		(B)	94,235	93,822	93,312		
②								
算出根拠等								

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	A	市長の各種公約の実現に向け、財源の獲得、交流人口の拡大など市長、副市長自らが直接行動しての活動である
	B(1)	一部結びつく		
	C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	A	市長面談については、市長自らがさまざまな会合などで面談のPRしていることから、希望される市民の数は増えている。また、トップの考えを自らの言葉で市民に伝えることで、市政推進のPRにも大きな役割を果たしている。
	B(1)	ある程度のニーズがある		
	C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	A	市長、副市長自らの行動により各種施策が政策立案されることから、その取組みは市民全体におよぶ。
	B(1)	概ね市民全体におよぶ		
	C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	評価対象外	公約実現のため市長が手段として行う取組みであり、数値として達成状況を評価することは適当ではない。なお、市民面談についてはH22は就任間もないこともあり、面談実績は非常に多くなった。
	B(1)	概ね達成している (75%以上)		
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	A	国内外の自治体や大学などとの新たな連携と交流が広がっているほか、海外誘客、外貨獲得、物販促進のPRなどその成果は着実に現れてきており、非常に有効である。
	B(1)	概ね有効である		
	C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	B	スケジュールが過密ぎみとなっているが、副市長と連携するなどして日程調整に工夫を凝らしている。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	A	市外の出張の際には、その方面で可能な面談を併せて調整することで、効率的なスケジュールとしている。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	A	公約実現に向けて積極的に活動しており、妥当である。
	B(1)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	A	海外を含めた精力的な渉外活動により事業費は増加しているものの、海外誘客、外貨獲得、物販促進などに成果が現れている。
	B(2)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
合計		17.0 / 18.0	100点換算	94 / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	各種公約の実現に向けて引き続き取り組んでいく				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	(担当課評価に同じ)				

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部査定額	市長査定額
歳出(千円)	12,023	14,593	2,570	12,135	12,135
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
一般財源	12,023	14,593	2,570	12,135	12,135

予算要求の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・交際・渉外に関する経費 ・各自治体との連携・情報収集にかかる経費
要求額増減理由	・岐阜県市長会地元開催による負担金の増
事業実施の課題	・市民と市長との面談機会の確保

財務部査定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・積算内容を精査 ・岐阜県市長会地元開催による負担金の増
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	20515	表彰関係事務費		担当課	企画管理部 秘書課		内線
	2406						
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	7	構想の推進
	款	2	総務費		分野	1	市民参画
	項	1	総務管理費		基本施策	1	市民と行政が協働してまちづくりに取り組む
	目	5	秘書費		施策	3	パートナーシップの構築
実施計画事業							
市長の約束							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	受益者数	93,312 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	市政の振興に寄与された方々の功績を称えることによる市民協働の推進		
概要	事業の実施手法(手段)	市表彰式の開催により、市政の進展に協力いただいた市民を表彰し、市民協働のまちづくりを進める		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	①	指標名	単位	目標・実績			
				H21	H22	H23見込	H24計画
算出根拠等			人・団体	目標値			
				実績値			-
算出根拠等				達成率(%)			-
成果指標	②	指標名	単位	目標・実績			
				H21	H22	H23見込	H24計画
算出根拠等				目標値			
				実績値			-
算出根拠等				達成率(%)			-
成果指標	①	被表彰者数	人	目標・実績			
				H21	H22	H23見込	H24計画
算出根拠等				目標値	—	—	—
				実績値	60	50	128
算出根拠等				達成率(%)	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
							-
コスト面	②	指標名	単位	目標・実績			
				H21	H22	H23見込	H24計画
算出根拠等				目標値			
				実績値			-
算出根拠等				達成率(%)			-
コスト面	①	受益者1件あたり	(A/B)	H21 決算額			
				H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額	
算出根拠等				1,454	2,694	8,200	
コスト面	②	受益者 全市民	(B)	H21 決算額			
				H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額	
算出根拠等				94,235	93,822	93,312	
コスト面	②	全市民1件あたり	(B)	H21 決算額			
				H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額	
算出根拠等				24,233	53,880	63,556	

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	B	市長公約の実現に向けて、市民と行政のパートナーシップの構築につながる
	B(1)	一部結びつく		
	C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	B	市政の振興に尽力された方を表彰し称えるものであり、市民感情を勘案してそのニーズに沿っており、市民協働のまちづくりに寄与している
	B(1)	ある程度のニーズがある		
	C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	A	市政の振興に尽力された方を表彰し称えるものであり、市民協働のまちづくりに寄与している
	B(1)	概ね市民全体におよぶ		
	C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	評価対象外	毎年市制記念日にあわせて順次、表彰を行っているが、被表彰者数を目標値として設定することは困難であり、数値として達成状況を評価することは適当でない
	B(1)	概ね達成している (75%以上)		
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	A	被表彰者を広く称えるため市制記念日において表彰するほか、広報紙にも掲載し広く市民に周知している
	B(1)	概ね有効である		
	C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	B	内規の見直しを行い、被表彰範囲の拡大を行った
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	A	過度に華美にならないよう必要最小限に留めて実施している
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	A	過度に華美にならないよう必要最小限に留めて実施している
	B(1)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	A	過度に華美にならないよう必要最小限に留めて実施している
	B(2)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
合計		15.0 / 18.0	100点換算	83 / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	維持・改善	拡大	○	縮小	廃止の検討	完了
	H23年度については、市制施行75周年の節目年として通年より規模を拡大して行うが、24年度については22年度並みの規模で実施する					

総合評価(二次評価)	維持・改善	拡大	○	縮小	廃止の検討	完了
	(担当課評価に同じ)					

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部査定額	市長査定額
歳出(千円)	8,200	3,322	△4,878	3,300	3,300
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
一般財源	8,200	3,322	△4,878	3,300	3,300

予算要求の概要	・市表彰式での市政の進展に貢献された方々の表彰にかかる経費
要求額増減理由	・75周年記念事業の終了による経費の減
事業実施の課題	

財務部査定の考え方	・積算内容を精査 ・75周年記念事業の終了による減
市長査定の考え方	・財務部査定のとおりに